五月十一日　六年国語課題

春のいぶき　教科書　３８ページ～３９ページ

日本では、こよみのうえで季節を二十四に区切っていました（二十四節気）。一言で「春」といっても、時期によって、見られる風景は様々です。

① 教科書に時期ごとに見られる春の風景が六種類紹介されています。それぞれの春の風景と様子を音読し、ノートに書き写してみましょう。

② 教科書に紹介されている短歌と俳句を読み、好きな作品をノートに視写しましょう。また、「春」の俳句作りにチャレンジしてみましょう。

〔ノート書き方例〕

春のいぶき

立春　立春　立春　立春　立春　雨水　雨水　雨水　雨水　雨水

啓蟄　啓蟄　啓蟄　啓蟄　啓蟄　春分　春分　春分　春分　春分

清明　清明　清明　清明　清明　穀雨　穀雨　穀雨　穀雨　穀雨

春の短歌・俳句

木立より　雪解のしづく　落つるおと

聞きつつわれは　歩みをとどむ

斎藤　茂吉

春の俳句

〇〇〇〇〇　〇〇〇〇〇〇〇　〇〇〇〇〇

教科書の作品（短歌・俳句）の中から好きなものを視写する。

俳句のルール
・五　七　五で作る（字余りでも可）
・季節の言葉（季語）を入れる。（春に関係する言葉）